

2 0 2 5（令和 7）年度

各拠点事業報告

2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

富山市星井町二丁目 5 番地

社会福祉法人 富山聖マリア会

2025（令和7）年度 社会福祉法人富山聖マリア会 法人本部事業報告

法人本部の収入は、経常経費寄附金収入及び受取利息配当金収入からなっている。また、支出に関しては役員の報酬や、会議交通費や本部（マリア館）の修繕費、郵便代などの通信運搬費、出版物印刷費などの広報費、調停関連や除雪費用などの業務委託費の内訳となっている。

2025年度の寄附金収入額は予算（2次補正予算）に対して 63.4%、前年度（2024年度）に対して 95.2%の達成率となっている。対予算については、2025年度当初予算をそのまま補正予算にも組み込んでいた為、達成率が低くなっている。

また、資金収支計算書の収入額については、雑収入として前年の係争関連の保険料収入として 858 千円が計上されており、事業活動計算書記載の収入総額において前年度比 95.2%となっている。

支出の内訳でみると、人件費（役員報酬）で前年度比 168.7%、予算比で 104.3%となっているが、これは役員報酬規程の改訂による支出増と考えられる。

事務費では修繕費（本部）支出（予算比 583%、前年度比 147%）と、広報費（予算比 115.8%、前年度比 117.7%）が増加した。また業務委託費については、前年度比で 42.5%と大幅な減少となったが、これは前年度の調停費用が無くなったことや除雪費用の減少によるものと思われる。

支出総額では、予算とほぼ同額前年度並みとなっており、前年度比でも 3.4%増とほぼ変わらない額となっている。

令和7年度の収支差は、約－1,225 千円で、予算額で約 20.5 千円の減少であり、前年度から約 96 千円の減少となっている。

総じて言えば、2025年度は寄附金収入で約 16 千円減少し、人件費と事務費支出で約 79.6 千円増加したことにより事業活動の収支差が約 95.6 千円減の約－2,082 千円となっているが、これにサービス活動外収益の 858 千円と事業区分間繰入金収益の 4,000 千円が加わり最終的に約 2,775 千円の増減差額となっている。

2025（令和7）年度 幼保連携型認定こども園富山聖マリア保育園事業報告

《基本理念》

児童福祉法に基づき、キリスト教精神をもって幼児に接し、豊かな人間性を持った子どもを育成することを目指した。

- ・一人ひとりの人格を尊重し、可能性を信じて、その成長を支援した。
- ・保護者や地域社会の多様なニーズに応え、サービスの向上に努めた。
- ・健康、安全で情緒の安定した生活ができる良い環境を作りました。

《教育保育目標》

- ・祈り、感謝し、素直に謝ることができる子（「ありがとう」が言える子）
- ・友達と仲良く遊び、世界と自然を愛する子（「ごめんなさい」が言える子）
- ・聴く、話す、創る、手伝うことができる子（喜んで参加できる子）
- ・やさしく受容する。
- ・あせらないで結果を求めない。

《教育保育方針》

- ・子どもの個性と人格をありのまま受容し、様々な欲求を適切に満たします。
（子どもも大人も神の前に共に生きる存在であるという人間理解に立ち、個別配慮児などの子にも、まったく同じように接します。）
- ・絶えず笑顔で、子どもとの信頼関係を築き、自立を促し、個々の能力を引出します。
（言葉への関心を育て、友達作りや基本的生活習慣獲得の援助をします。）
- ・子どもの好奇心や探究心を大切に受けとめ、共に心を動かします。
（自然や生き物の恵みに共に感動し、遊びや製作に創意工夫をします。行事などのマンネリ化を防ぎ「見直す」勇気を持ちます。）
- ・大切な命を預かる仕事であるから、健康と安全には最大限配慮します。
（健康状態や虐待の有無を絶えずチェックし、園内外環境の安全点検をします。）
- ・保護者と十分な信頼関係を築く努力をします。
（保護者の話や苦情を傾聴受容し、十分な情報交換をします。）

《教育保育計画・教育指導計画立案の留意点》

- ・保育園部、幼稚園部どの部分にも基本理念、教育保育目標、教育保育方針が組み込まれ、「子どもにとってはどうか」を基本に、何を育てたいかを明確に示す。
- ・令和7年1号認定（幼稚園部）として2歳児0人、3歳児0名、4歳児2名、5歳児0名、合計2名。
- ・幼稚園部保育園部と保育時間が違う為行事又は活動は、幼稚園部が通う時間帯9時～14時45分に年齢別活動を行いこどもに違和感を与えない様配慮した。

(1) 定 員 130名

(2) 在籍人数 () は、幼稚園部

	乳 児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
2025年度	15	23	25	22	27(2)	22	134(2)
2024年度	17	22	23	27(2)	22(3)	23	134(5)

(3) 職員数（職種別） 2025年度4月1日の人数、() は2024年度4月1日人数

園 長 副園長	チャプレン	主幹・副主幹 保育教諭	保育教諭 指導保育 教諭	看護師	栄養士調 理員	講師及び 事務員	合 計
2(2)	1(1)	2(2)	16(18)	2(2)	6(6)	15(15)	44(46)

2025年7月看護師が辞めた。2026年3月は43名になる。

- (4) 一時預かり事業（定員1日12名）利用日数は（ ）で記入
一時的に子どもを預かり保育する。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
2025年度	3(4)	3(10)	2(5)	2(2)	1(6)	1(1)	
2024年度	0	1(1)	2(16)	0	2(4)	1(3)	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2025年度	2(4)	0	0	0	0	7(7)	21(39)
2024年度	2(3)	1(1)	1(1)	0	2(6)	3(12)	15(47)

2025年度月平均1.8人 2024年度月平均1.3人

- (5) 病児病後時保育事業（定員1日・4名）利用日数は同じです。
一時的に病児室で預かる自園型病児保育を行う

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
2025年度	12	10	14	8	15	17	
2024年度	9	14	8	21	18	19	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2025年度	7	10	25	8	16	21	163
2024年度	16	13	38	7	7	3	173

2025年度月平均13.6人 2024年度月平均14.4人

- (6) 保 健 防 災 計 画

内科、歯科検診及び寄生虫の検査を全園児に実施する。職員の健康診断は法規に従って実施する。
交通安全訓練、避難消火訓練は毎月1回行い防災の意識を高める。

－ 3 －

- (7) 職 員 研 修 計 画

- ・各団体が主催する研修並びに富山市保育連盟の研修会に参加する。
- ・園内研修では、臨床心理士を招き毎月1回の保育事例研修会を継続して行い資質の向上を図る。

- (8) 職 員 会 議

- ・毎朝、子どもたちの為の祈り後、日々の打ち合わせ会を持つ。
- ・毎月1回全体会議を開催し、行事の確認、子どもの姿・発達について話し合う。
また、看護師、調理員の意見を聞く。必要に応じてリーダー会議、副リーダー会議、パート会議、B会議などを行い、資質向上を計る

- (9) 行事等

月	行事名	行事名	行事名	行事名
---	-----	-----	-----	-----

4 月	進級式	入園式		
5 月	歯科検診	内科検診	親子遠足	
6 月	花の日礼拝	プール遊び	すぎのこ人形劇	
7 月	プラネタリウム鑑賞	七夕の会		
1 0 月	3, 4, 5 歳児 家族の集い（運動 会）	2, 3, 4, 5, 歳児遠足	内科検診	ハロウィンパーティー
1 1 月	歯科検診	収穫感謝祭	乳幼児祝福式	アドベント始まる
1 2 月	年末特別教室	5, 4 歳児クリスマス会	3 歳児クリスマス会	0, 1, 2 歳児 クリスマス会
1 月	個人懇談会			
2 月	豆まき	仲良しパーティ		
3 月	おひな様会	ありがとうの集い	卒園式	タイムカプセル

(10) その他

- ・南側のベランダのやり直し工事は100万円以上でした。東側の中庭は石などを取り除き、コンクリートにした。
- ・令和7年度南側の中庭の遊具を設置したいとの希望があったが出来なかった。
令和8年度に意見を聞いて検討する。

2025（令和7）年度 特別養護老人ホーム常楽園 事業報告

一人ひとりの職員が「信・望・愛」を基本精神とし、信じあう生活、希望のある生活、愛しあう生活の実現を通して、園を利用される方々に悦びと安心と安全が感じられる環境の提供と家庭的な雰囲気づくりを目指します。

1. 特養ホーム状況

2025（令和7）年度の1年間は、入居者の在籍変動が更に一層目まぐるしくなり、入所・退所や入院・退院が頻繁に繰り返された。また、3か月ごとに行われている入所検討委員会の資料として提出される入所申込者の数も減少傾向が目立ち、待機者数が徐々に減っていることを窺わせるようになった。

職員に関しては、以前常楽園に在籍していた職員が複数復職したり、ハローワークを通じた中途入職者の採用や新たな外国人特定技能者の加入もあって、一時期介護及び看護の人員が安定した。しかしながら、年度末になって、3名の特定技能者の離職があり、再び人員体制においてやや不安定な状況になって来ている。

人材確保に向けては、地元上市町の中学・高校など教育機関との連携による取り組みや、県内の短期大学や専門学校の協力による介護助手育成や特定技能者の介護実務者研修受講の取り組みも進められた。中でもミャンマー出身のピュー特定技能者が1月の介護福祉士国家試験に合格したことは特筆に値する。

（1）特養ホームの在籍者数

2025年度の在籍数は、月平均で70名台前半に留まっており、前年度の70名台後半から後退した。これには、主に重度入所者数の増加もあるが、新規入所者のベースとなる待機者数の漸減もあると思われる。

（2）人材の確保

2025年度は、かつて在籍していた介護職員の復職や中途採用の職員の採用もあり、特養ホームの活性化に繋がりがつつある。一方で、外国人介護特定技能者については、年度内で2名の新規採用はあったが離職者も3名出た為、総数で減少した。

（3）常楽園入居者ケア環境改善の取り組み

- ① オンコール体制の改善：ドクターメイト契約連携
- ② 夜間救急搬送の取り扱い：職員輪番体制の試行
- ③ NPO 法人「富山成年後見支援センター」との取り決め

（4）災害対策と事業継続計画の立案

災害時の対応に関して、備品等の整備と避難訓練の実施を進めた。今後は、更に行政や医療機関との連携や電気やガスのエネルギー確保対策必要となってくる。

2025/2024 年度 ホーム在籍者数

定員 80 名

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
在籍者数	2025	79	77	76	74	73	74	75	75	75	72	73	72
	2024	80	82	80	81	78	77	77	78	78	76	77	79

※2025 年度；月平均 74.6 人（2024 年度；月平均 78.6 人）

2. 短期入所者（ショートステイ）状況

担当職員の人員数が確保できなかった為、2022年度6月以降休止し、2025年度も引き続きショートを受け入れ休止を続けた。そして、6年間の更新期間が終了する2025年度末以降の休止は認められない為、年度末（3月末）をもって、この事業の廃止を県に届け出た。

2025/2024年度 ショート利用者数

定員20名

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	2025	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2024	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※2025年度；一日平均 0人（2024年度；一日平均 0人）

3. 職員配置（ ）内前年同期入所定員：80名、ショーステイ定員：20名 2026年3月

施設長（園長）（デイ兼務）	1（1）	非常勤介護職員	13（12）
統括管理者/統括会計管理者	1（1）	非常勤事務職員	2（1）
総務職員	1（2）	夜勤専門員	2（2）
主任生活相談員	1（1）	運転パート職員	0（0）
介護支援専門員/生活相談員	2（2）	洗濯パート職員	3（3）
介護職員	13（15）	宿直員	3（3）
看護職員	4（4）	嘱託産業医	1（1）
介護職員兼保全管理	2（2）	嘱託医師（内科、精神科）	2（2）
管理栄養士	2（2）		
特定技能者（ミャンマー）	3（2）	合計	59（59）
特定技能者（ベトナム）	3（3）		

4. 医務報告

通常の内科回診、精神科回診の対応、研修医の受入れ、日常の通院、救急対応、入院対応、投薬に加え、新型コロナウイルス感染症等の対応を行った。施設内の消毒や換気等の指導・実施にも配慮した。また、入所者のワクチン接種や健康診断も実施した。年度当初には「安全衛生管理計画」の策定を行い、毎月一回安全衛生委員会を産業医にご出席頂き開催した。

2025/2024年度 入院者数（実人数）

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入院者数	2025	10	6	11	7	9	9	11	11	9	7	8	9
	2024	2	6	4	4	4	2	1	6	7	8	11	10

※2025年度 月平均；8.9人（2024年度； 月平均 5.4人）

5. 給食・保全管理・洗濯業務報告

給食については食器洗浄機や冷蔵庫、コンベクションオーブン等の大型備品の老朽化により、新たな購入を実施しました。また、委託会社から食材費の値上げ及び人件費（管理費）増額の要望があったことと、燃料費の増額を受けて、利用者ご家族の負担増をお願いしました。

加えて中部厚生センターの点検から安全管理面での指導があり、タイル壁の修繕やスプリンクラーの塗装剥がしや手洗い場付近の修繕を実施しました。

介護職員兼保全管理は2025年度2名体制で、入所者の通院業務や営繕（保全・管理）の業務を兼ねて担当した。

洗濯職員は通常の洗濯業務を中心に、2024 年度まで業者委託して来た館内トイレ等の清掃業務の肩代わりや建屋周辺の環境整備及び修繕業務の一部補助にも携わる予定にしている。

6. 設備・備品メンテナンス、環境整備など（主なもの）

- 空調/給湯管 保守・点検（北電ビズ・エナジーソリューション及びサブラ）
- 電気設備巡視点検（日本テクノ）消防設備（おみでんき、ホクシンシステム）
- ICT 関連機器メンテナンス（サンシックス）
- 庭木剪定、草刈り、雪吊り、藤棚補修など（ガーデン・ユウ）
- 厨房備品買い替え、メンテナンス（野原厨房）

7. 修理・修繕

- （能登地震被害による）館内壁の亀裂補修（すまい・る・スペース、今村氏）
- 厨房機器修理（野原厨房）
- 特殊浴槽メンテナンス（酒井医療機器）

8. 保険関係

- ①総合保険、自動車保険（新生保険サービス）
- ②火災保険（JIC 金沢）

9. 外国籍職員監理組合

- ①フレンドリー・ジャパン（ミャンマー特定技能介護職員 3 名）
- ②ダン ダン；グエン タン ダン氏（ベトナム特定技能介護職員 4 名）

10. 委員会等実施状況

- (1) ケアプラン検討会；月 2 回
- (2) 主幹・副主幹・班長会議；月 1 回
- (3) 安全衛生委員会；月 1 回
- (4) 入退所検討委員会；年 4 回
- (5) 高齢者虐待防止委員会；年 4 回
- (6) 非常災害対策・危機管理委員会
- (7) 身体拘束廃止委員会
- (8) 安全衛生委員会
- (9) 苦情処理（サービス向上・改善・検討含む）委員会
- (10) 入退所検討委員会
- (11) 感染症対策委員会
- (12) 栄養ケア委員会
- (13) 広報委員会
- (14) 生産性向上委員会（加算検討含む）
- (15) 写真・新聞委員会
- (16) 人材育成・確保委員会
- (17) 褥瘡予防委員会
- (18) 排泄委員会
- (19) 物品管理委員会
- (20) 研修委員会
- (21) 面会・行事・ボランティア委員会
- (22) 園礼拝：柳原健之；富山聖マリア教会牧師

2025（令和 7）年度 常楽園デイサービスセンター事業報告

1. 運営概況

2025 年度は、新たに「お試し一日体験利用」を開始し、参加者にデイサービスの活用法を理解して頂き、気軽にスタート出来る環境を整えました。

また、入浴は一般浴と特殊浴槽の両方を作動させ、気泡浴を取り入れることにより、血行促進を進めリラックスした雰囲気を感じて頂いています。

そして、デイサービス BCP マニュアルに沿って、災害や感染症対策にも取り組んでいます。

地域のケアマネージャーさん達と連携し、在宅介護されているご家族

を支援しています。

職員数は依然として不足気味なので、地域内外から資質豊かな職員の応募を期待しています。

2. 2025/2024 年度 デイ利用者数比較

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	2025	166	191	209	242	223	237	219	196	209	170	162	200
	2024	217	238	201	224	203	200	213	183	186	178	145	140

※2025 年度；一日平均 9.0 人（2024 年度；一日平均 11.4 人）

3. 2026 年 3 月 31 日職員構成

① 管理者	1 名（兼務）
② 生活相談員	2 名（1 名兼務）
③ 介護職員	1 名
④ 看護職員兼機能訓練指導員	1 名
⑤ 非常勤介護職員	3 名
⑥ 非常勤看護職員	1 名
計	7 名（兼務除く）

2025(令和 7)年度 常楽園サービス 事業報告

実践報告

- ・本年度の居宅介護支援事業における利用者数は、前年度比で減少した。理由として、地域包括支援センターからの新規ケアマネジメント依頼件数が前年度より減少し、これに伴い担当件数に影響が見られたと考えられる。町内事業所における介護支援専門員増加により、包括からの振り分けが分散した可能性がある。
- ・地域包括支援センターから介護予防プランの受託を積極的に受け地域包括支援センターと協働して支援を行った。
- ・様々な事情を抱えているご利用者に対して、適切な判断・行動がとれるよう地域ケア会議や個別会議へ積極的に参加し、援助技術のアプローチや多職種連携の重要性、制度の熟知に努めた。
- ・苦情の訴えは無く経過した。

実績報告 2025 年度／2024 年度 常楽園サービス利用者数

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
実利用者数	2025	62	61	68	67	65	61	60	59	57	57	57	58
	2024	70	60	63	61	60	59	64	61	61	61	61	61

2025 年度 月平均：61.0 人（2024 年度：61.8 人）

2026 年 3 月 31 日職員構成

常楽園サービス管理者	1 名（兼務）
① 主任介護支援専門員	1 名
② 居宅介護支援専門員	1 名

2025（令和7）年度 富山市民病院院内保育所事業報告

1. 園児数 定員 36 名

年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
2025	1 5	1 4	1 5	1 5	1 5	1 6	
2024	2 0	2 0	2 0	2 0	2 2	2 4	
年度	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	平均
2025	1 7	1 9	1 9	2 0	2 0	2 1	1 7. 2
2024	2 5	2 5	2 8	3 0	3 0	3 2	2 4. 7

2. 職員

	所長	保育士	看護師	栄養士	パート保育士	家庭的 保育者	合計
4 月	1 名	4 名	2 名 (4 時間パート 1 名)	1 名	2 名 (毎日が 2 名) (1 名 6 月から復帰)	1 名 (週 3)	1 1 名
3 月	1 名	4 名	2 名 (4 時間パート 1 名)	1 名	3 名 (毎日が 2 名、週 3 が 1 名)	1 名 (週 3)	1 2 名

3. 保育内容

- ☆ 『豊かな人間性を持った子どもをめざして』という保育目標のもと、一人ひとりの子どもとゆったりと関わり、その子に合った援助に努めた。
- ☆ 院内保育所というメリットの中、子どもの幸せ、保護者の思いを充分に受け入れて保育に専念していった。
- ☆ 様々な感染症の拡大を避けるため、手洗い・消毒など児童・職員に徹底した。
- ☆ 第 2・4 土曜日保育を行った。夜間保育、準夜保育の利用はなかった。
- ☆ 病児保育では小児科と統一見解を持ち行えるよう、連携を取った。院内保育所の児童ばかりでなく、市民病院の職員の方の院外の保育所に通っている未就学児童も預かった。
- ☆ 富山市の要請に伴い、トワイライトステイ(夜間保育)を受け入れる。今年は 1 件要請があったが、利用はなかった。
- ☆ 職員会では、クラス状況を話し合い、全園児について共通理解を深め、気になる児童に関しては何度もケース会議を開くと共に、喜田先生(富山聖マリア保育園カウンセラー)にも相談しながら、解決策を探っていった。また、児童の健やかな成長を願いながら、保護者の方と連携を取りつつ保育に努めていった。